

2019年 2月13日
京成電鉄株式会社

**危機発生時における対応力と連携力を強化するため、
電車内でテロ行為による爆発が発生した際の初動対応を訓練**

「テロ災害」を想定した 救助救急訓練を実施しました

2月13日(水) 10時00分～ 高砂車庫

京成電鉄(本社:千葉県市川市 社長:小林 敏也)では、2019年2月13日(水)10時00分より、京成電鉄高砂車庫(東京都葛飾区高砂5-55-1)において、消防、東京DMAT、警察等と協力し、合計約340名が参加する「テロ対策訓練」を実施しました。

これは、テロ発生時における当社社員の対応強化、安全意識の高揚及び消防、警察を始めとした関係者間の連携力強化を図ることを目的として実施したものです。

今回の訓練では、走行中の京成電鉄車両内において、テロ行為による爆発が発生したことを想定し、新たに消防を訓練参加機関に加え、消防、警察をはじめとする関係機関への連絡通報や、お客様の避難誘導等を実施しました。

京成電鉄では、ラグビーワールドカップ2019や2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控える中、引き続き訓練等を通しテロ対策の強化に努めていくと共に、今後もお客様に安心してご利用いただけるよう輸送の安全確保に万全を期してまいります。

本件の概要は次頁の通りです。



テロ対策訓練の様子(写真左:お客様の避難誘導の様子、写真右:不審物処理の様子)

テロ対策訓練の実施について

1. 日 時 2019年2月13日(水) 10時00分～11時30分頃
2. 場 所 京成電鉄 高砂車庫
【所在地】東京都葛飾区高砂5-55-1
3. 参加機関 京成電鉄、東京消防庁第七消防方面本部及び方面内各消防署、
装備部航空隊、本田消防団、警視庁葛飾警察署・亀有警察署、葛飾区、
東京DMAT(東京曳舟病院) 合計約340名
4. 訓練概要 (1)想定
走行中の京成電鉄車両内において、テロ行為による爆発が起こり緊急停車、
車両内に多数の傷病者が発生する。
(2)訓練内容
①連絡通報
②避難誘導、傷病者の救出・搬送

以 上